

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	18HP2004	事業期間	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
生物物理学領域における国際的トップ ジャーナルを目指して		一般社団法人 日本生物物理学会	会長・原田 慶恵
学術刊行物の名称			(略称)
Biophysics and Physicobiology			BPPB

【令和2(2020)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>概ね当初に掲げた目標に対して、論文投稿数、論文アクセス数、PDFダウンロード数、論文受付から公開までの日数短縮といった項目において順調な成果が認められる。インパクトファクター(IF)取得やプレプリントサーバ(BioRxiv)との連携に向けた取組もやや遅延気味ではあるものの進捗していると評価できる。</p> <p>さらに世界第3位の会員数を誇る学会が主催する学術誌としては、会員からの投稿&掲載論文が本質的に少ないのは今後に向けた大きな改善点である。インパクトファクター(IF)取得は一つの契機となることが予想されるが、会員から選ばれる学術誌となる取組も期待したい。</p>	